

一般演題 (ポスター)

■会場：熊本城ホール 3階 ポスター・展示会場

■ポスター貼付・自由閲覧

貼付

11月27日(水) 9:00～17:00

自由閲覧

11月27日(水) 9:00～17:00

11月28日(木) 9:00～10:30

12:30～15:20

18:30～19:30

11月29日(金) 9:00～11:00

■発表

【臨床部門】

奇数番号：11月28日(木)10:30～11:30

偶数番号：11月28日(木)11:30～12:30

【基礎部門】

奇数番号：11月28日(木)15:20～16:05

偶数番号：11月28日(木)16:05～16:50

【社会部門】

11月28日(木)17:00～18:30

■ポスター撤去

11月29日(金)11:00～12:00

臨床 日和見感染

P001 ニューモシスチス肺炎に対する予防治療期間に関する検討

山口公大¹⁾、石原正志^{2,3)}、生駒良和¹⁾、渡邊珠代⁴⁾、杉山仁美⁵⁾、鶴見 寿^{1,6)}

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 5) 岐阜大学医学部附属病院看護部
- 6) 松波総合病院血液内科

臨床 悪性腫瘍

P002 合成卵胞ホルモン剤服用下で R-CHOP 療法を施行した HIV に合併した悪性リンパ腫の一例

那波みゆき¹⁾、宮本愛梨沙¹⁾、宇高 歩¹⁾、石坂敏彦¹⁾、小川吉彦²⁾、松浦基夫³⁾

- 1) 地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
- 2) 同 感染症内科
- 3) 同 腎代謝免疫内科

P003 メソトレキセート大量療法で治療した中枢神経原発悪性リンパ腫の2例

寒川 整¹⁾、酒井梨紗¹⁾、中村大志²⁾、加藤英明¹⁾、山本哲哉²⁾、中島秀明¹⁾

- 1) 横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科学
- 2) 横浜市立大学医学部脳神経外科学

P004 大量メソトレキセート併用化学療法が奏功した HIV 関連リンパ腫の2例

近藤陽介、安井晴之進、福田寛文、竹内麻子、徳永博俊、近藤英生、和田秀穂

川崎医科大学血液内科学

P005 ATL 様の flower cell を呈した治療抵抗性 T 細胞腫瘍に対して造血幹細胞移植を行った HIV 感染症の一例

澤田暁宏¹⁾、徳川多津子¹⁾、島袋翔多²⁾、日笠真一²⁾、福永景子¹⁾、池亀和博¹⁾、岡田昌也¹⁾、日笠 聡¹⁾、藤盛好啓¹⁾

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 兵庫医科大学病院薬剤部

P006 巨大肺腫瘍による入院が契機となり診断に到った HIV 感染症例

齊藤誠司^{1,2)}、村上由佳²⁾、野村直幸²⁾、松井綾香²⁾、藤原千尋²⁾、飯塚暁子²⁾、木梨貴博²⁾、坂田達朗²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター 感染症内科
- 2) 同 広島県東部地区エイズ治療センター

臨床 肝炎

P007 薬害 HIV/HCV 共感染血友病患者の肝細胞癌に対する重粒子線治療

柳澤邦雄¹⁾、小川孔幸²⁾、渋谷 圭^{3,4)}、柴慎太郎^{3,4)}、石崎芳美⁵⁾、北田陽子^{4,5)}、真野 浩⁶⁾、佐々木晃子⁷⁾、伊藤俊広⁷⁾、吉丸洋子⁸⁾、高木雅敏⁹⁾、松下修三¹⁰⁾、大杉福子¹¹⁾、大金美和¹¹⁾、瀧永博之¹¹⁾、田沼順子¹¹⁾、岡 慎一¹¹⁾、半田 寛²⁾、大野達也^{3,4)}

- 1) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
- 2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 3) 群馬大学医学部附属病院 放射線科
- 4) 群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター
- 5) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 6) 国立病院機構仙台医療センター 消化器内科
- 7) 国立病院機構仙台医療センター 感染症内科
- 8) 熊本大学病院 消化器内科
- 9) 熊本大学 看護部
- 10) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 11) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

臨床 生活習慣病関連合併症

- P008 抗 HIV 療法の時代における本邦の HIV 感染例の予後と関連因子の研究**
西島 健、安藤尚克、塩尻大輔、上村 悠、柳川泰昭、水島大輔、青木孝弘、渡辺恒二、塚田訓久、田沼順子、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一
国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- P009 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 循環器疾患等の状況**
川戸美由紀¹⁾、橋本修二¹⁾、大金美和²⁾、岡 慎一²⁾、岡本 学³⁾、瀧永博之²⁾、日笠 聡⁴⁾、福武勝幸⁵⁾、八橋 弘⁶⁾、白阪琢磨³⁾
1) 藤田医科大学医学部衛生学講座
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター
4) 東京医科大学 医学部 臨床検査医学講座
5) 兵庫医科大学病院 血液内科
6) 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター
- P010 ART 選択に影響する患者因子についての検討**
安田明子¹⁾、成田綾香¹⁾、小谷岳春²⁾、齋藤千鶴²⁾、渡邊珠代³⁾
1) 石川県立中央病院 薬剤部
2) 石川県立中央病院 血液免疫内科
3) 石川県立中央病院 免疫感染症内科
- P011 抗 HIV 療法施行患者における降圧薬開始のリスク因子の探索**
西田桜子¹⁾、島袋翔多¹⁾、秀田恭子¹⁾、日笠真一¹⁾、日笠 聡²⁾、澤田暁宏²⁾、徳川多津子²⁾、田中邦佳¹⁾、柳井美奈¹⁾、木村 健¹⁾
1) 兵庫医科大学病院 薬剤部
2) 兵庫医科大学 血液内科
- P012 テノビルジソプロキシフマル酸塩から テノビルアラフェナミドフマル酸へ変更後の骨への影響について**
山本有紀¹⁾、竹松茂樹¹⁾、平岡亮太²⁾、平野克也²⁾、水野翔馬²⁾、大西康貴²⁾、鏡 亮吾²⁾、勝田倫子²⁾、水守康之²⁾、砂金秀美¹⁾
1) 国立病院機構 姫路医療センター薬剤部
2) 国立病院機構 姫路医療センター 呼吸器内科

臨床 免疫再構築症候群

- P013 抗 HIV 療法開始直後に増悪したアメーバ性大腸炎・アメーバ性肝膿瘍の 1 例**
小西啓司、中川裕太、福岡里紗、森田 諒、山根和彦、麻岡大裕、中河秀憲、白野倫徳、後藤哲志
大阪市立総合医療センター 感染症内科
- P014 抗 HIV 薬開始から 3 年半後に発症し、診断・治療に難渋したクリプトコッカス髄膜炎・免疫再構築症候群の 1 例**
寒川 整、酒井梨紗、加藤英明、中島秀明
横浜市立大学医学部血液・免疫・感染症内科学

臨床 HAND

- P015 中国四国地方における HIV 関連神経認知障害に関する研究－体制構築－**
西田拓洋¹⁾、中尾 綾²⁾、中村美保¹⁾、川田通子³⁾、海面 敬⁴⁾、臼井麻子⁵⁾、池谷千恵⁶⁾、吉川由香³⁾、武内世生¹⁾、窪田良次³⁾、尾崎修治⁴⁾、佐藤 穰⁵⁾、千酌浩樹⁶⁾、和田秀穂⁷⁾、山下 光⁸⁾、山之内純²⁾、高田清式²⁾
1) 高知大学医学部附属病院
2) 愛媛大学医学部附属病院
3) 香川大学医学部附属病院
4) 徳島県立中央病院
5) 関門医療センター
6) 鳥取大学医学部附属病院
7) 川崎医科大学附属病院
8) 愛媛大学
- P016 HIV 関連神経認知障害 (HAND) における髄液中のネオプテリン量および HIV-RNA 量と様々の ART 療法後の変化**
高田清式¹⁾、末盛浩一郎²⁾、山之内純²⁾、西川典子³⁾、辻井智明³⁾、井門啓子⁴⁾、木村博史⁴⁾、乗松真大⁴⁾、武田玲子⁵⁾、若松 綾⁶⁾、小野恵子⁶⁾、中尾 綾²⁾
1) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
2) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科
3) 愛媛大学医学部附属病院 薬物療法・神経内科
4) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
5) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
6) 愛媛大学医学部附属病院 総合医療サポートセンター

臨床 抗 HIV 療法

P017 HIV 感染症の診断から初回抗 HIV 療法導入までの期間とそのウイルス学的効果に関する研究

田沼順子、岡 慎一、菊池 嘉、瀧永博之、照屋勝治、塚田訓久、渡辺恒二、青木孝弘、水島大輔、柳川泰昭、上村 悠、西島 健

国立研究開発法人国立国際医療研究センター

P018 当院 HIV 陽性患者における CD4 陽性リンパ球数年次推移の検討

坂部茂俊¹⁾、田中宏幸¹⁾、中西雄紀¹⁾、豊島弘一¹⁾、荒木 潤²⁾、小倉香里³⁾、森尾志保³⁾、服部公紀⁴⁾

1) 伊勢赤十字病院感染症内科
2) 伊勢赤十字病院肝臓内科
3) 伊勢赤十字病院 看護部
4) 伊勢赤十字病院薬剤部

P019 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨¹⁾、橋本修二²⁾、川戸美由紀²⁾、大金美和³⁾、岡本 学¹⁾、瀧永博之³⁾、日笠 聡⁴⁾、福武勝幸⁵⁾、八橋 弘⁶⁾、岡 慎一³⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 藤田医科大学
3) 国立国際医療研究センター
4) 兵庫医科大学
5) 東京医科大学
6) 国立病院機構長崎医療センター

P020 TDF/FTC から TAF/FTC へのスイッチが骨密度及び骨代謝マーカーに及ぼす影響

吉野友祐¹⁾、山本 藍¹⁾、三須恵太¹⁾、若林義賢¹⁾、北沢貴利¹⁾、太田康男^{1,2)}

1) 帝京大学医学部内科学講座感染症
2) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院内科

P021 左腎萎縮患者に対するテノビル製剤長期使用の経験

國本雄介¹⁾、又村了輔¹⁾、北川 学¹⁾、木明智子¹⁾、中田浩雅¹⁾、池田 博²⁾、宮本 篤¹⁾

1) 札幌医科大学附属病院 薬剤部
2) 札幌医科大学 医学部 血液内科

P022 当院における NRTI sparing regimen の治療効果と安全性

石井聡一郎¹⁾、田中まりの¹⁾、藤井健司¹⁾、藤田啓子²⁾、畝井浩子¹⁾、柿本聖樹³⁾、井上暢子⁴⁾、山崎尚也⁴⁾、高田 昇⁵⁾、藤井輝久^{4,6)}

1) 広島大学病院薬剤部
2) 医療法人社団輔仁会太田川病院薬剤部
3) 広島大学病院総合診療科
4) 広島大学病院輸血部
5) おだ内科クリニック
6) 広島大学病院エイズ医療対策室

P023 当院におけるラルテグラビル600mg 製剤切り替え後の忍容性および有効性に関する検討

秋根 大、外島正樹、森澤雄司

自治医科大学附属病院 感染症科

P024 DRV/c を含む NRTI sparing 2 剤併用 regimen 3 症例の検討

宮本愛梨沙¹⁾、宇高 歩¹⁾、那波みゆき¹⁾、石坂俊彦¹⁾、小川吉彦²⁾、草間加与³⁾、西田幸司³⁾、松浦基夫⁴⁾

1) 堺市立総合医療センター
2) 同 感染症内科
3) 同 呼吸器内科
4) 同 腎代謝免疫内科
5) 同 診療局

P025 当院におけるラルテグラビル600mg 錠の使用経験

梅崎実弥子¹⁾、市田裕之¹⁾、白野倫徳²⁾、中川裕太²⁾、福岡里紗²⁾、森田 諒²⁾、山根和彦²⁾、小西啓司²⁾、麻岡大裕²⁾、中河秀憲²⁾、後藤哲志²⁾

1) 大阪市立総合医療センター薬剤部
2) 大阪市立総合医療センター感染症内科

P026 一次結核を発症した生後 7 ヶ月の HIV 陽性乳児において TDM によるラルテグラビル投与量設定が奏功した 1 例

仲村秀太¹⁾、健山正男¹⁾、名嘉山賀子²⁾、上原 仁³⁾、前田さおり³⁾、宮城京子³⁾、藤田次郎¹⁾

1) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座
2) 琉球大学大学院医学研究科育成医学講座
3) 琉球大学医学部附属病院薬剤部
4) 琉球大学医学部附属病院看護部

P027 ドルテグラビルの血中濃度モニタリングを実施したHIV陽性血液透析患者の1例

松本千鶴¹⁾、平野 淳¹⁾、加藤万理¹⁾、
福島直子¹⁾、松岡梨恵¹⁾、今橋真弓²⁾、
蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、中井正彦¹⁾、
横幕能行²⁾

- 1) 国立病院機構 名古屋医療センター 薬剤部
2) 国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター
3) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター (感染・免疫研究部)

P028 Integrase 領域の薬剤耐性 HIV 患者に ART 変更を行った一例

木元慎一郎¹⁾、藤井常宏²⁾、森下和美³⁾

- 1) 富士市立中央病院薬剤科
2) 富士市立中央病院血液内科
3) 沼津市立中央病院薬剤部

P029 経験豊富なエイズ指導医との連携により Salvage 療法が奏功した1例

西田裕介¹⁾、山下裕敬¹⁾、山本 慧¹⁾、
川村隆之²⁾、野崎由迅¹⁾、酒井 純²⁾、
小野大輔²⁾、三村一行¹⁾、岡 秀昭^{1,2)}、
大野秀明²⁾

- 1) 埼玉医科大学総合医療センター総合診療内科・感染症科
2) 埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染症制御科

P030 他診療科入院中の HIV 陽性者における HIV 感染症薬物療法認定薬剤師等の薬学的管理に関する検討

松岡梨恵¹⁾、平野 淳¹⁾、加藤万理¹⁾、
福島直子¹⁾、松本千鶴¹⁾、今橋真弓²⁾、
蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、中井正彦¹⁾、
横幕能行²⁾

- 1) 名古屋医療センター 薬剤部
2) 名古屋医療センター エイズ治療開発センター
3) 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部

臨床 臨床薬理

P031 フェニトインとカルバマゼピン内服患者において、ドルテグラビルの血中濃度の検討を行った1症例

合原嘉寿^{1,2,3)}、大石裕樹^{1,2,3)}、西野 隆⁴⁾、
小山和彦^{2,3,5)}、高濱宗一郎^{2,3,5)}、
南 留美^{2,3,5)}、高島伸也^{1,2,3)}、山本政弘^{2,3,5)}

- 1) 国立病院機構九州医療センター 薬剤部
2) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
3) 国立病院機構九州医療センター 臨床研究センター
4) 高邦会高木病院 薬剤部
5) 国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科

臨床 服薬アドヒアランス

P032 アバカビル/ラミブジン/ドルテグラビル配合錠の簡易懸濁法を用いた服薬支援の一例

稲村由香¹⁾、鈴木克典²⁾、田中美佐子³⁾、
野田雅美⁴⁾、曾我真千恵⁵⁾、齋藤和義⁶⁾、
田中良哉⁵⁾

- 1) 産業医科大学病院 薬剤部
2) 同 感染制御部
3) 同 看護部
4) 同 事務部 患者サービス室
5) 同 第一内科学
6) 戸畑総合病院

P033 トキソプラズマ脳炎治療薬における簡易懸濁法の検討

関根祐介^{1,5)}、笹津備尚²⁾、篠澤圭子^{3,5)}、
萩原 剛^{4,5)}、天野景裕^{4,5)}、福武勝幸^{4,5)}

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
2) 星薬科大学 基礎実習研究センター/組織再生学
3) 東京医科大学 血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座
4) 東京医科大学 臨床検査医学分野
5) 厚生労働省エイズ治療薬研究班

P034 抗 HIV 薬服用患者に対する薬剤師による外来服薬指導の現状と今後の展望

霧生彩子¹⁾、熊木絵美¹⁾、内坪敬太¹⁾、
小林瑞季¹⁾、古屋貴人¹⁾、長島浩二¹⁾、
押賀充則¹⁾、増田純一¹⁾、田沼順子²⁾、
照屋勝治²⁾、瀧永博之²⁾、塚田訓久²⁾、
寺門浩之¹⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
2) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

P035 保険薬剤師が長期に服薬支援を担っていくうえでの課題—学習会参加者アンケートから見えてきたもの—

海老昌子¹⁾、井上将貴³⁾、塩見 拓¹⁾、
須田充彦¹⁾、田上直美¹⁾、田橋美佳¹⁾、
中島郁枝¹⁾、圓岡大典¹⁾、宮崎菜穂子¹⁾、
吉場雅一朗¹⁾、土井信幸^{1,3)}

- 1) smART 応需
- 2) 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
- 3) 高崎健康福祉大学薬学部 地域医療薬学研究室

臨床 STI・STD

P036 赤痢アメーバ症と、HIV 感染症を含むその他の性感染症の関連

小林泰一郎¹⁾、藤原 翔¹⁾、福島一彰¹⁾、
田中 勝¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、味澤 篤^{1,2)}、
今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科
- 2) 東京都立北療育医療センター

臨床 母子感染

P037 未受診妊婦の HIV スクリーニングの現状 -- 妊婦 HIV スクリーニング検査率に関する全国調査より

大里和広¹⁾、吉野直人²⁾、伊藤由子²⁾、
小山理恵²⁾、高橋尚子²⁾、杉浦 敦²⁾、
田中瑞恵²⁾、山田里佳²⁾、谷口晴記²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、塚原優己²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 市立四日市病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

P038 妊婦 HIV スクリーニング検査陽性症例の診療対応 —産婦人科全国調査—

吉野直人^{1,2)}、伊藤由子²⁾、大里和広²⁾、
小山理恵²⁾、高橋尚子^{1,2)}、杉浦 敦²⁾、
田中瑞恵²⁾、谷口晴記²⁾、山田里佳²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、外川正生²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学 医学部 微生物学講座 感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

P039 HIV 感染児の診療対応—小児科全国調査—

吉野直人^{1,2)}、田中瑞恵²⁾、伊藤由子²⁾、
大里和広²⁾、小山理恵²⁾、高橋尚子^{1,2)}、
杉浦 敦²⁾、谷口晴記²⁾、山田里佳²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、外川正生²⁾、
喜多恒和²⁾

- 1) 岩手医科大学 医学部 微生物学講座 感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

P040 HIV および梅毒感染妊婦に関する全国調査

伊藤由子^{1,2)}、吉野直人²⁾、杉浦 敦²⁾、
大里和広²⁾、小山理恵²⁾、高橋尚子²⁾、
田中瑞恵²⁾、谷口晴記²⁾、山田里佳²⁾、
桃原祥人²⁾、定月みゆき²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター
- 2) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

臨床 歯科

P041 新潟県 HIV 感染者等歯科医療ネットワーク

高木律男¹⁾、山田瑛子¹⁾、永井孝宏¹⁾、
茂呂 實²⁾、川口 玲²⁾、須貝 恵^{2,3)}

- 1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野
- 2) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団

P042 北陸ブロック HIV 歯科医療ネットワークの現況

宮田 勝¹⁾、高木純一郎¹⁾、釜本宗史¹⁾、
越田美和²⁾、向 真紀²⁾、榎野莉沙²⁾、
宮浦朗子²⁾、渡邊珠代³⁾、高山次代⁴⁾、
辻 典子⁵⁾、秋野憲一⁶⁾、宇佐美雄司⁷⁾

- 1) 石川県立中央病院歯科口腔外科
- 2) 石川県立中央病院歯科技術室
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科
- 4) 石川県立中央病院看護部
- 5) 石川県立中央病院 HIV 事務室
- 6) 札幌市保健福祉局
- 7) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科

P043 広島大学病院歯科外来における HIV 曝露時の対応について

新谷智章¹⁾、岩田倫幸²⁾、岡田美穂³⁾、山崎尚也^{4,5)}、藤井輝久^{4,5)}、柴 秀樹⁶⁾

- 1) 広島大学病院口腔検査センター
- 2) 広島大学病院歯周診療科
- 3) 広島大学病院歯科衛生部門
- 4) 広島大学病院輸血部
- 5) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 6) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P049 非英語圏のエイズ患者に対する看護を行った一例

芝田佳香¹⁾、宮崎雅美¹⁾、渡辺美沙¹⁾、武田玲子¹⁾、若松 綾¹⁾、小野恵子⁴⁾、木原久文²⁾、末盛浩一郎²⁾、井門敬子³⁾、中尾 綾⁵⁾、竹中克斗²⁾、高田清式²⁾、山岡多恵¹⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 2) 第一内科
- 3) 薬剤部
- 4) 総合診療サポートセンター
- 5) 総合臨床研修センター

臨床 看護

P044 HIV/AIDS コーディネーターナース創世期の患者の要望とコーディネーターナースの活動

八鍬類子^{1,2)}、島田 恵³⁾、石原美和⁴⁾

- 1) 東京医療保健大学千葉看護学部
- 2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
- 3) 首都大学東京人間健康科学研究科看護科学域
- 4) 宮城大学看護学群看護学研究科

P050 A 病院における高齢 HIV/AIDS 患者の今後の療養生活に関する意識調査

宮越郁子¹⁾、村上則子²⁾、多羽田直実¹⁾、白井佐恵子²⁾、杉山ひかる¹⁾、佐々木祐子¹⁾、松田幸恵¹⁾、最上いくみ¹⁾、菅原ひろみ¹⁾

- 1) 北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院
- 2) (前) 北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院

P045 5年間の看護記録のテキストマイニング分析による HIV/AIDS 患者の看護支援の実態 (第一報) —患者の療養経過に焦点を当てて—

碓井瑠衣¹⁾、今津陽子¹⁾、松山奈央²⁾、竹林早苗²⁾、青盛真紀¹⁾、渡部節子¹⁾

- 1) 公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科
- 2) 公立大学法人横浜市立大学附属病院看護部

P051 粘膜曝露防止のためのフェイスシールド付きマスク使用向上の取組み

藤城弓子

藤田医科大学病院 感染対策室

P046 5年間の看護記録のテキストマイニング分析による HIV/AIDS 患者の看護支援の実態 (第二報) —看護師の介入方法の変化に注目して—

竹林早苗¹⁾、松山奈央¹⁾、碓井瑠衣²⁾、今津陽子²⁾、青盛真紀²⁾、渡部節子²⁾

- 1) 公立大学法人横浜市立大学附属病院 看護部
- 2) 公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科

P052 臨床看護職による大阪府立 A 高校におけるクラス単位 HIV 予防教育の実践

佐保美奈子¹⁾、古山美穂¹⁾、山田加奈子¹⁾、高 知恵¹⁾、二本貞夫²⁾、土井章裕²⁾、岡本友子³⁾、立花久裕⁴⁾、辻岡舞衣子⁵⁾、北島朋子⁶⁾、白阪琢磨⁷⁾

- 1) 大阪府立大学大学院看護学研究科
- 2) 大阪府立貝塚高等学校
- 3) 足立病院看護部
- 4) 訪問看護ステーション町の看護師さん八尾
- 5) 国立大阪南医療センター 看護部
- 6) 藍野短期大学看護学科
- 7) 国立大阪医療センター

P047 「蜂窩織炎で入院した HIV 感染患者の一例」～ HIV 感染患者を取り巻く環境の複雑さを感じた症例報告～

湯藤真子

広島市立広島市民病院

臨床 PEP/nPEP/PrEP

P053 石川県での HIV 曝露後予防薬の整備状況・使用状況

下川千賀子¹⁾、安田明子²⁾、北川恵美子³⁾、渡邊珠代⁴⁾

- 1) 石川県立高松病院薬剤科
- 2) 石川県立中央病院薬剤部
- 3) 石川県健康福祉部健康推進課
- 4) 石川県立中央病院免疫感染症科

P048 適切な受検行動への支援の必要性に関する症例報告

近江谷英理、片井麻美、堤 豊

市立函館病院

臨床 症例報告

**P054 抗 HIV 療法とリハビリテーションにより
著明な ADL 改善が得られ在宅療養が可能
となった進行性多巣性白質脳症の 1 例**

佐久川亮¹⁾、小原沙希子²⁾、藤原佳奈子²⁾、
池田知子²⁾、大森伊久子²⁾、堂垣奈津香³⁾、
鳥越由美恵³⁾、鶴川春佳³⁾、大道淳二⁴⁾、
東郷和美⁵⁾、橘 大輔⁶⁾、森田絢子¹⁾、
中村尚季¹⁾、梅野貴裕¹⁾、塩尻正明¹⁾、
細川 忍¹⁾、別所昭宏¹⁾

- 1) 岡山赤十字病院 呼吸器内科
- 2) 看護部
- 3) リハビリテーション科
- 4) 薬剤部
- 5) 精神神経科
- 6) 医療福祉相談課

**P055 頭部 MRI で小脳、脳幹部に病変が局在し
肺胞低換気を生じた進行性多巣性白質脳
症の 1 剖検例**

下田 学¹⁾、矢崎夏美¹⁾、廣瀬友城¹⁾、
中野滋文¹⁾、諸井文子¹⁾、高杉知明¹⁾、
堀場昌英¹⁾、芳賀孝之²⁾、太田康男³⁾、
末廣大知⁴⁾、高尾昌樹⁵⁾、中道一生⁶⁾、
西條政幸⁶⁾

- 1) 国立病院機構東埼玉病院 呼吸器科
- 2) 国立病院機構東埼玉病院 臨床検査科
- 3) 国立病院機構東埼玉病院 内科
- 4) 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 脳神経内
科学分野
- 5) 埼玉医科大学国際医療センター 神経内科・脳卒中内
科
- 6) 国立感染症研究所 ウイルス第一部

**P056 前治療無効で glecaprevir+
pibrentasvir 療法により SVR24 が得
られた HIV/HCV (genotype 1a) 重
複感染の 1 例**

服部公紀¹⁾、坂部茂俊²⁾、荒木 潤³⁾、
三宅知宏¹⁾、谷村 学¹⁾

- 1) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 2) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 3) 伊勢赤十字病院肝臓内科

**P057 非エイズ HIV 感染合併麻疹症例の臨床経
過**

馬渡桃子¹⁾、西川美由紀²⁾、大久保佳代²⁾、
上田晃弘¹⁾

- 1) 日本赤十字社医療センター感染症科
- 2) 日本赤十字社医療センター感染管理室

**P058 抗 HIV 療法施行中に次々に自己免疫疾患
を発症した 1 例**

山崎尚也、井上暢子、藤井輝久
広島大学病院輸血部

臨床 HIV 感染症一般・その他

**P059 当院の新規診断 HIV 感染者における診断
時 CD4 陽性 T リンパ球数と血中
HIV-RNA 量の年次推移に関する検討**

渡邊 大^{1,2)}、上平朝子²⁾、鍵浦文子³⁾、
松山亮太⁴⁾、梯 正之³⁾、砂川富正⁵⁾、
白阪琢磨^{2,6)}

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエ
イズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 広島大学大学院医歯薬保健学研究科健康情報学
- 4) 広島大学大学院医学系研究科
- 5) 国立感染症研究所感染症疫学センター
- 6) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター

**P060 本邦の HIV 感染妊娠の母子調査における
患者報告データを併用したリアルワールド
情報収集に向けた取り組み**

Ohtsu Hiroshi^{1,2)}、田中瑞恵^{1,2)}、
佐々木泰治¹⁾、北島浩二¹⁾、杉浦 敦²⁾、
吉野直人²⁾、喜多恒和²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コ
ホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならび
に診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

**P061 千葉県内の HIV 感染症患者の受診行動と
地域医療の課題**

猪狩英俊¹⁾、谷口俊文¹⁾、高柳 晋¹⁾、
矢幅美鈴¹⁾、遠藤千鶴²⁾、古谷佳苗²⁾、
千葉 均^{1,2)}、柴田幸治³⁾、築地茉莉子⁴⁾、
鈴木貴明⁴⁾、葛田衣重⁵⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院 感染制御部
- 2) 千葉大学医学部附属病院 看護部
- 3) 千葉感染制御研究所
- 4) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
- 5) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部

P062 愛媛県における訪問看護師に対する実地研修の現状

若松 綾¹⁾、武田玲子¹⁾、芝田佳香¹⁾、
宮崎雅美¹⁾、藤原光子¹⁾、小野恵子²⁾、
中尾 綾³⁾、乗松真大⁴⁾、木村博史⁴⁾、
末盛浩一郎³⁾、井門敬子⁴⁾、山岡多恵¹⁾、
高田清式⁵⁾

- 1) 愛媛大学医学部附属病院看護部
- 2) 愛媛大学医学部附属病院総合診療サポートセンター
- 3) 愛媛大学医学部附属病院第一内科
- 4) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター

P063 軽度栄養不良の疑われる HIV 陽性者に対する栄養介入の影響

庄司久美子¹⁾、白野倫徳²⁾、笠松 悠³⁾、
市田裕之²⁾、豊島裕子²⁾、後藤哲志²⁾、
羽生大記⁴⁾

- 1) 女子栄養大学栄養学部
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 3) 京都府立医科大学附属病院感染症科
- 4) 大阪市立大学生活科学研究科

P064 高速液体クロマトグラフィー - 蛍光検出器による第二世代 HIV インテグラーゼ阻害剤の血中濃度測定法の確立

中田佳宏^{1,2)}、松岡和弘¹⁾、平野 淳³⁾、
大出裕高¹⁾、今橋真弓¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、
中井正彦³⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部

P065 本邦初の HIV-2 サブタイプ A インド流行株症例

明石直樹¹⁾、柳澤邦雄²⁾、助川明香³⁾、
重見 麗³⁾、蜂谷敦子³⁾、岩谷靖雅³⁾、
小磯博美²⁾、徳江 豊²⁾、内田 梓⁴⁾、
須藤千秋⁴⁾、村上正巳⁴⁾、小川孔幸¹⁾、
半田 寛¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター感染・免疫研究部
- 4) 群馬大学医学部附属病院 検査部

臨床 アンコール演題

P066 Archived M184V/I or TAMs and Efficacy of Bictegravir/ Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide (B/F/TAF) in HIV-1 RNA-Suppressed Patients Switching to B/F/TAF

Kristen Andreatta,
Madeleine Willkom, Ross Martin,
Silvia Chang, Rima Acosta,
Hiba Graham, Hal Martin,
Ayako Nakase, Damian McColl,
Kristen White

Gilead Sciences

P067 96 Week (W96) Efficacy and Safety of Bictegravir/ Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide (B/F/TAF) in Treatment-Naive (TN) Adults \geq 50 years (yr)

Samir Gupta¹⁾、Cynthia Brinson²⁾、
Kim Workowski³⁾、Amanda Clarke⁴⁾、
Ellen Koenig⁵⁾、David Asmuth⁶⁾、
Jurgen Rockstroh⁷⁾、Mingjin Yan⁸⁾、
Sean Collins⁸⁾、Ayako Nakase⁸⁾、
Yo Hoshino⁸⁾、Diana Brainard⁸⁾

- 1) Indiana University
- 2) Central Texas Clinical Research
- 3) Emory University
- 4) Royal Sussex County Hospital
- 5) IDEV: Instituto Dominicano de Estudios Virologicos
- 6) University of California, Davis
- 7) University Hospital Bonn
- 8) Gilead Sciences

P068 Study 4030: High Level of Pre-existing NRTI Resistance (-R) prior to Switching to Bictegravir/ Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide Fumarate (B/F/TAF)

Rima K. Acosta, Madeleine Willkom,
Kristen Andreatta, Hui Liu,
Ross Martin, Silvia Chang,
Hal Martin, Sean Collins,
Ayako Nakase, KuanYeh Lee,
Kristen White

Gilead Sciences

P069 Phase 3b Study Switching from E/C/F/TAF or TDF-based Regimen to Bictegravir/ Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide (B/F/TAF) in Suppressed Adults \geq 65 yrs

Franco Maggiolo¹⁾、
Giuliano Rizzardini²⁾、
Jean-Michel Molina³⁾、
Federico Pulido⁴⁾、Stephane De Wit⁵⁾、
Linos Vandekerckhove⁶⁾、
Juan Berenguer⁷⁾、Chris Blair⁸⁾、
Susan Chuck⁸⁾、David Piontkowsky⁸⁾、
Hal Martin⁸⁾、Ian Mc Nicholl⁸⁾、
Richard Haubrich⁸⁾、Ayako Nakase⁸⁾、
Joel Gallant⁸⁾

- 1) Division of Infectious Diseases, ASST Papa Giovanni XXIII
- 2) Division of Infectious Diseases, Luigi Sacco Hospital, ASST Fatebenefratelli Sacco
- 3) Department of Infectious Diseases, Saint Louis Hospital, University Paris Diderot
- 4) Unidad VIH, Hospital Universitario 12 de Octubre, imas12, UCM
- 5) St Pierre University Hospital, Universite Libre de Bruxelles, Brussels
- 6) University Hospital Ghent
- 7) Infectious Diseases, Hospital General Universitario Gregorio Marañon (IISGM)
- 8) Gilead Sciences

P070 Antiviral Activity of Tenofovir Alafenamide against HIV-1 Harboring K65R

Stephanie Cox、Nicolas Margot、
Renee Ram、Ayako Nakase、
Keisuke Harada、Christian Callebaut
Gilead Sciences

P071 腸管遊走性 CD4+T 細胞と HIV 患者の胃炎の活動性と関連する

安達英輔¹⁾、佐藤秀憲¹⁾、城戸康年²⁾、
大田泰徳³⁾、松原康郎⁴⁾、松本 昂⁵⁾、
池内和彦¹⁾、古賀道子¹⁾、堤 武也¹⁾、
たちかわあい⁶⁾、俣野哲郎⁶⁾、平田善裕⁴⁾、
山岡吉生⁵⁾、四柳 宏¹⁾

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 大阪市立大学大学院医学研究科 都市医学講座寄生虫学
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院病理部
- 4) 東京大学医科学研究所先端ゲノム医学分野
- 5) 大分大学環境・予防医学講座
- 6) 国立感染症研究所エイズ研究センター

P072 Prevalence of neuropsychiatric conditions among HIV positive compared to HIV negative commercially insured individuals in 2017

Joshua Cohen¹⁾、Anne Beaubrun²⁾、
Ken Hasegawa³⁾、Rolin Wade⁴⁾、
Dionne M. Hines⁴⁾

- 1) Tufts University, Boston, MA USA
- 2) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA
- 3) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan
- 4) IQVIA, Plymouth Meeting, PA USA

P073 Incidence and Risk of Major Depression and Suicidal Ideation in US Veterans with and without HIV

SS Sutton^{1,2)}、J Magagnoli²⁾、
JW Hardin^{2,3)}、A Beaubrun⁴⁾、L Hsu⁴⁾、
K Hasegawa⁵⁾、B Edun²⁾

- 1) Department of Clinical Pharmacy and Outcomes Sciences, University of South Carolina, College of Pharmacy, Columbia, South Carolina.
- 2) WJB Dorn Veterans Affairs Medical Center, Dorn Research Institute, Columbia, South Carolina.
- 3) Department of Epidemiology and Biostatistics, University of South Carolina, Norman J. Arnold School of Public Health, Columbia, South Carolina.
- 4) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA
- 5) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan

P074 Real-world Persistence for Newly Prescribed HIV-1 Treatment: Single Versus Multiple Tablet Regimen Comparison

Joshua Cohen¹⁾、Anne Beaubrun²⁾、
Ken Hasegawa³⁾、Richa Bashyal⁴⁾、
Ahong Huang⁴⁾

- 1) Tufts University, Boston, MA, USA
- 2) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA
- 3) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan
- 4) STATinMED Research, Ann Arbor, MI, USA

P075 Estimation of the Incremental Lifetime Cost of HIV Compared to a HIV-Uninfected Population

Joshua Cohen¹⁾、Anne Beaubrun²⁾、Ken Hasegawa³⁾、Yao Ding⁴⁾、Dionne M. Hines⁴⁾

- 1) Tufts University, Boston, MA USA
- 2) Gilead Sciences Inc, Foster City, CA, USA
- 3) Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan
- 4) IQVIA, Plymouth Meeting, PA, USA

P076 Week 96 AMBER results: once-daily darunavir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide (D/C/F/TAF) single-tablet regimen in treatment-naive HIV-1 patients

Chloe Orkin¹⁾、Noriyuki Habuka²⁾、Joseph J. Eron³⁾、Jurgen Rockstroh⁴⁾、Daniel Podzamczar⁵⁾、Stefan Esser⁶⁾、Linos Vandekerckhove⁷⁾、Erika Van Landuyt⁸⁾、Erkki Lathouwers⁸⁾、Veerle Hufkens⁸⁾、John Jezorwski⁹⁾、Magda Opsomer⁸⁾

- 1) Blizard Institute, Barts and The London School of Medicine and Dentistry, Queen Mary University, London, UK
- 2) Janssen Pharmaceutical K.K. Japan
- 3) The University of North Carolina School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA
- 4) Universitätsklinikum Bonn, Bonn, Germany
- 5) IDIBELL-Hospital Universitari de Bellvitge, L'Hospitalet, Barcelona, Spain
- 6) University Hospital Essen, Essen, Germany
- 7) Ghent University and Ghent University Hospital, Ghent, Belgium
- 8) Janssen Pharmaceutica NV, Beerse, Belgium
- 9) Janssen Research & Development, Pennington, NJ, USA

P077 Week 96 EMERALD results: darunavir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide (D/C/F/TAF) QD single-tablet regimen in virologically suppressed HIV patients

Joseph J. Eron¹⁾、Koichi Hasegawa²⁾、Chloe Orkin³⁾、Douglas Cunningham⁴⁾、Federico Pulido⁵⁾、Frank Post⁶⁾、Stephane De Wit⁷⁾、Erkki Lathouwers⁸⁾、Veerle Hufkens⁸⁾、John Jezorwski⁹⁾、Kimberley Brown⁸⁾、Erika Van Landuyt⁸⁾、Magda Opsomer⁸⁾

- 1) The University of North Carolina School of Medicine, Chapel Hill, NC, USA
- 2) Janssen Pharmaceutical K.K., Japan
- 3) Queen Mary University, London, UK
- 4) Pueblo Family Physicians, Phoenix, AZ, USA
- 5) HIV Unit, Hospital 12 de Octubre, Madrid, Spain
- 6) King's College Hospital NHS Foundation Trust, London, United Kingdom
- 7) Saint-Pierre University Hospital, Universite Libre de Bruxelles, Brussels, Belgium
- 8) Janssen Pharmaceutica NV, Beerse, Belgium
- 9) Janssen Research & Development, Pennington, NJ, USA

座長 前田洋助

熊本大学大学院 生命科学研究部 微生物学分野

座長 原田恵嘉

国立感染症研究所エイズ研究センター

基礎 複製

P078 HiBiT ペプチドタグを利用した超迅速 HIV-1 定量系の樹立

大園誠也^{1,2)}、張 延昭¹⁾、飛梅 実¹⁾、
岸上哲士²⁾、徳永研三¹⁾

1) 国立感染症研究所 感染病理部

2) 山梨大学 生命環境学

基礎 宿主因子

P079 生体内で選択される Nef 変異が SERINC3/5 阻害活性に与える影響の解析

豊田真子¹⁾、Doreen Kamori¹⁾、大橋 順²⁾、
立川(川名)愛³⁾、瀧永博之^{1,4)}、岡 慎一^{1,4)}、
Massimo Pizzato⁵⁾、上野貴将¹⁾

1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

2) 東京大学

3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

4) 国立国際医療研究センター

5) Centre for Integrative Biology, University of Trento, Italy

基礎 構造

P080 薬剤耐性 HIV-1 インテグラーゼは HIV-1 RNA の結合を強化し、ヌクレオカプシドと HIV-1 粒子形成に関係している

中村朋文¹⁾、天野将之¹⁾、Travis Chia³⁾、
松岡雅雄^{1,3)}、満屋裕明^{1,2)}、中田浩智¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部血液、膠原病、感染症内科

2) 国際医療研究センター・難治性ウイルス感染症

3) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所ウイルス制御分野

P081 HIV-1 エンベロープにおける脆弱部位の推定

横山 勝¹⁾、小谷 治¹⁾、土肥直哉²⁾、
駒 貴明²⁾、野間口雅子²⁾、佐藤裕徳¹⁾

1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部

基礎 感染機構

P082 RNA-Seq Analysis of Chronically HIV-1-Infected Cells to Uncover the Possible Mechanisms of Clonal Expansion and Proviral Latency

Benjy Jek Yang Tan^{1,2,3)}、
Saori Iwase⁴⁾、
Islam Mohammad Saiful^{1,2,3)}、
Eriko Kudo⁵⁾、Hiroo Katsuya⁶⁾、
Paola Miyazato¹⁾、Kouki Matsuda⁷⁾、
Kenji Maeda⁷⁾、Seiji Okada⁸⁾、
Shuzo Matsushita⁹⁾、
Yorifumi Satou^{1,2)}

1) Division of Genomics & Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

2) Laboratory of Retroviral Genomics & Transcriptomics, International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University

3) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University

4) Institute of Infectious Disease & Molecular Medicine, University of Cape Town

5) Department of Immunobiology, Yale University School of Medicine, New Haven, Connecticut

6) Division of Hematology, Respiratory Medicine & Oncology, Saga University

7) Department of Refractory Viral Infection, National Center for Global Health & Medicine Research Institute, Tokyo

8) Division of Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

9) Division of Clinical Retrovirology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

P083 Insertional mutagenesis of the distal C-terminal heptad repeat (CHR) of the HIV-1 gp41 subunit

Hongyun Wang¹⁾、Jiping Song¹⁾、
Yasushi Kawaguchi^{2,3)}、
Jun-ichiro Inoue^{2,4)}、Zene Matsuda^{1,2)}

1) Laboratory of Structural Virology and Immunology, Institute of Biophysics, Chinese Academy of Sciences

2) Research Center for Asian Infectious Diseases, Institute of Medical Science, The University of Tokyo

3) Division of Molecular Virology, Department of Microbiology and Immunology, Institute of Medical Science, The University of Tokyo

4) Division of Cellular and Molecular Biology, Department of Cancer Biology, Institute of Medical Science, The University of Tokyo

基礎 免疫

P084 Anti-idiotypic antibodies of neutralizing antibodies targeting CD4-induced (CD4i) epitope on HIV-1 gp120

Shashwata Biswas, Kazuki Tanaka, Yu Kaku, Takeo Kuwata, Shuzo Matsushita

Clinical Retrovirology Laboratory, Joint Research Center for Human Retroviral Infection, Kumamoto University

P085 リンパ組織における SIV 潜伏感染細胞排除の可能性

升田雄士^{1,2)}、高濱正吉¹⁾、岡村智崇³⁾、伊勢知子⁴⁾、永田諭志⁴⁾、保富康宏³⁾、山本拓也^{1,2,5)}

- 1) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 免疫老化プロジェクト
- 2) 大阪大学大学院 薬学研究科 免疫老化制御学分野
- 3) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医学研究センター
- 4) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 抗体スクリーニングプロジェクト
- 5) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

P086 SIV escape mutations in CD8⁺ T-cell epitopes in MHC-I haplotype *90-120-la* (+) progressors

Afia Asante Ntim^{1,2,4)}、Takushi Nomura²⁾、Hiroshi Ishii²⁾、Tetsuro Matano^{1,2,3)}

- 1) Graduate School of Medical Sciences and Joint Research Centre for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan
- 3) Institute of Medical Science, University of Tokyo, Japan
- 4) Noguchi Memorial Institute of Medical Research, University of Ghana- Legon

P087 AlphaScreenによる抗イデオタイプ抗体を用いた抗 V3 抗体検査手法の検討

下川琢也、郭 悠、桑田岳夫、松下修三

熊本大学臨床レトロウイルス学共同研究センター臨床レトロウイルス学分野

P088 IMPACT OF HIV INFECTION AND ANTIRETROVIRAL THERAPY ON THE GUT MICROBIOTA AMONG HIV-INFECTED CHILDREN IN VIETNAM

Quynh Nguyen¹⁾、Azumi Ishizaki¹⁾、Xiuqiong Bi¹⁾、Kazunori Matsuda²⁾、Hiroshi Ichimura¹⁾

- 1) Department of Viral Infection and International Health, Graduate School of Medical Sciences, Kanazawa University
- 2) Yakult Central Institute

基礎 動物モデル

P089 Neutralization sensitive SHIV gain neutralization resistance with only 2 mutation in gp120 V2 area.

Yalcin Pisil¹⁾、Zafer Yazici²⁾、Hisatoshi Shida³⁾、Shuzo Matsushita⁴⁾、Tomoyuki Miura¹⁾

- 1) Laboratory of Primate Model, Research Center for Infectious Diseases, Institute for Frontier Life and Medical Science, Kyoto University
- 2) Department of Virology, Faculty of Veterinary Medicine, 19 Mayis University, Samsun, Turkey
- 3) Division of Molecular Virology, Institute of Immunological Science, Hokkaido University, Sapporo, Japan
- 4) Center for AIDS Research, Kumamoto University, Japan

P090 Epitope-specific CD8⁺ T cells in neutralizing antibody-infused SIV controllers

Thi Thu Trang Hau^{1,2)}、Yoshiaki Kanno³⁾、Takushi Nomura¹⁾、Tetsuro Matano^{1,2,3)}、Hiroyuki Yamamoto¹⁾

- 1) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan
- 2) Graduate School of Medical Sciences and Joint Research Centre for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 3) Institute of Medical Science, University of Tokyo, Japan

基礎 新薬開発

P091 Determining the Mechanism of a Possible HIV-1 Uncoating Inhibitor Targeting Capsid: ACAi-028

Travis Chia, Masayuki Amano, Tomofumi Nakamura, Hiroto Nakata, Masao Matsuoka
Kumamoto University

P092 PKC 活性化剤と BET 阻害剤の併用による HIV 再活性化能及び毒性への効果

鷺崎彩夏¹⁾、村田めぐみ¹⁾、関 洋平¹⁾、
Yin Pui Tang¹⁾、Weikeat Tan¹⁾、
入江一浩²⁾、明里宏文^{1,3)}

1) 京都大学霊長類研究所
2) 京都大学 大学院農学研究科
3) 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所

P093 HIV-1 capsid (CA) 構造蛋白に作用し、その過剰安定化を誘導する事で HIV-1 増殖阻害活性を発揮する化合物群の同定

天野将之¹⁾、中村朋文¹⁾、
Pedro Miguel Salcedo Gomez¹⁾、
趙 睿¹⁾、中田浩智¹⁾、宮川寿一¹⁾、
Travis Chia Ren Teen¹⁾、松岡雅雄¹⁾、
満屋裕明^{1,2)}

1) 熊本大学医学部 血液・膠原病・感染症内科
2) 国立国際医療研究センター研究所

P094 HIV-1 潜伏感染プロウイルスの再活性化を誘導する latency reversing agent (LRA) 候補薬の探索

合田 仁^{1,2)}、Ni Jing²⁾、Xiyao Wang²⁾、
鈴木一雄³⁾、井上純一郎^{1,4)}、川口 寧^{1,5)}、
石田尚臣^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点
2) 中国科学院微生物研究所日中連携研究室
3) シドニーセントビンセント応用医科学研究センター、
ニューサウスウェールズ州立 HIV リファレンス研究
室
4) 東京大学医科学研究所癌細胞増殖部門分子発癌分野
5) 東京大学医科学研究所感染免疫部門ウイルス病態分
野

基礎 薬剤耐性

P095 PPT 領域内におけるドルテグラビル耐性関連変異の同定

久保田舞¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、大出裕高¹⁾、
重見 麗¹⁾、岡崎玲子¹⁾、松田昌和¹⁾、
今橋真弓¹⁾、Karen A. Kirby²⁾、
Stefan G. Sarafianos²⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅¹⁾

1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター

2) Laboratory of Biochemical Pharmacology, Department of Pediatrics, Emory University School of Medicine

基礎 抗 HIV 療法

P096 Establishment of a simple culture model for the role of tunneling nanotubes (TNTs) in inter-cellular spread of HIV-1

Sameh Lotfi, Osamu Noyori, Hesham Nasser, Shinya Suzu

Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

P097 Molecular mechanisms of Interleukin-32 γ - mediated anti-HIV activity in macrophages

Omnia R. Abdelrahman^{1,3)}、
Shinya Suzu¹⁾、Jun-ichi Sakuragi²⁾

1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan

2) Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Japan

3) Department of Microbiology, High Institute of Public Health, Alexandria University, Egypt

P098 Isolation of a monoclonal antibody from a patient infected with HIV-1 subtype AG

Hasan MD Zahid, Takeo Kuwata, Yu Kaku, Kazuki Tanaka, Shokichi Takahama, Shuzo Matsushita

Clinical Retrovirology Lab, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

P099 HIV-1 Gag タンパク質を標的とした薬剤スクリーニングシステムの開発

門出和精¹⁾、立石 大²⁾、吉田知史¹⁾、
寺沢広美¹⁾、藤田美歌子²⁾、澤 智裕¹⁾、
前田洋助¹⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野
2) 熊本大学大学院生命科学研究部 サイエンスファーム 生体機能化学共同研究講座

P103 Characterization of Currently Circulating HIV-1 Envelope Sequences in Tanzania

George Judicate¹⁾、
Godfrey Barabona¹⁾、
Macdonald Mahiti²⁾、Salim Masoud²⁾、
Doreen Kamori²⁾、
Amina Shaban Mgunya³⁾、
Takeo Kuwata¹⁾、Bruno Sunguya^{1,2)}、
Eligius Lyamuya^{1,2)}、Takamasa Ueno¹⁾

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
2) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania
3) Muhimbili National Hospital, Tanzania

基礎 分子疫学

P100 サブタイプCRF01_AEにおける国内伝播クラスタの2011年から16年の動向

大谷真智子¹⁾、椎野禎一郎¹⁾、近藤真規子²⁾、
蜂谷敦子³⁾、菊地 正¹⁾、俣野哲朗¹⁾

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) 神奈川県衛生研究所微生物部
3) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター

P101 日本で流行している HIV-1 CRF01_AE の分子疫学的特徴の解析

近藤真規子¹⁾、佐野貴子¹⁾、長島真美²⁾、
貞升健志²⁾、蜂谷敦子³⁾、瀧永博之⁴⁾、
吉村幸浩⁵⁾、立川夏夫⁵⁾、岩室紳也⁶⁾、
井戸田一朗⁷⁾、今井光信⁸⁾、加藤真吾⁹⁾、
椎野真一郎¹⁰⁾、吉村和久¹⁰⁾、菊地 正¹⁰⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
2) 東京都健康安全研究センター
3) (独) 名古屋医療センター
4) 国立国際医療研究センター
5) 横浜市立市民病院
6) 厚木市立病院
7) しらかば診療所
8) 田園調布学園大学
9) 株式会社ハナ・メディテック
10) 国立感染症研究所

P102 HIV integrase genotypes circulating in Tanzania: Implication to efficacy of inhibitors regimen

Doreen Kamori¹⁾、Salim Masoud¹⁾、
Godfrey Barabona²⁾、
Macdonald Mahiti¹⁾、
Bruno Sunguya^{1,2)}、
Eligius Lyamuya^{1,2)}、Takamasa Ueno²⁾

- 1) Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania
2) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

基礎 悪性腫瘍

P104 Acanthoic acid inhibited PEL cell proliferation and induced apoptosis through c-FLIP downregulation

Gunya Sittithumcharee、
Ryusho Kariya、Seiji Okada

Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan

社会 教育

P105 高等学校1年次生を対象としたエイズ予防啓発活動

松原 誠¹⁾、伊藤公人²⁾、住友伸一郎¹⁾

1) 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔外科学分野
2) 社会医療法人宏潤会大同病院 血液・化学療法内科

P106 青森県内高校生のエイズ・性感染症に対する意識調査ー 医療・行政・教育・マスメディアの連携による予防啓発事業の普及効果 ー

久保恒明¹⁾、宍倉慎次²⁾、里村智彦³⁾、
谷地村克久⁴⁾、原田邦弘⁵⁾、佐藤伸代⁵⁾、
秋元典子⁵⁾、小笠原典⁶⁾、下山広樹⁷⁾

1) 青森県立中央病院血液内科
2) 青森県高等学校長協会
3) 青森県私立中学高等学校長協会
4) 青森県教育庁スポーツ健康課
5) 青森県健康福祉部保健衛生課
6) 青森県健康福祉部医療薬務課
7) 東青地域県民局地域健康福祉部保健総室

社会 予防・検査・相談

P107 HIV 検査陽性告知時面接記録から考える保健指導の在り方について

西田彩夏¹⁾、大石めぐみ²⁾、安井典子¹⁾、
田島 結¹⁾、松田利花¹⁾、真田理恵³⁾、
友田桐子¹⁾、青木理恵子⁴⁾、平 寛子⁴⁾、
オンパダ香織⁴⁾、山中京子⁵⁾、半羽宏之⁶⁾

1) 大阪市北区保健福祉センター
2) 大阪市健康局健康推進部
3) 大阪市東淀川区役所
4) NPO 法人 CHARM
5) 大阪府立大学
6) 大阪市保健所

P108 大阪検査相談・啓発・支援センターにおける「女性スタッフによる女性のためのレディースデー」取り組み

毛受矩子、高野正子、来住知美

特定非営利活動法人、スマートらいふネット

P109 エイズ中核拠点病院相談員研修会の成果と課題ーこれまでの取り組みと今後についてー

高田知恵子¹⁾、長浦由紀²⁾、嶋 篤子³⁾

1) 大妻女子大学人間関係学部
2) 長崎大学病院
3) 滋賀医科大学付属病院

社会 薬害

P110 薬害被害者の心理的支援方法の検討ー被害者で終われない、前向きな人生の生きなおしのきっかけー

早坂典生¹⁾、山田富秋²⁾、橋本 謙³⁾、
種田博之⁴⁾、入江恵子⁵⁾、小川良子⁶⁾、
宮本哲雄⁷⁾

1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
2) 松山大学
3) 愛知県岐阜県スクールカウンセラー
4) 産業医科大学
5) 九州国際大学
6) 看護師
7) 国立病院機構大阪医療センター

P111 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言 (第一報) ~現状の取り組みと今後の支援課題について

柿沼章子、久地井寿哉、岩野友里、武田飛呂城、
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

P112 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言 (第四報) ~居住モデル調査の取り組みと課題

武田飛呂城、久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、
大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

社会 陽性者支援

P113 血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病患者の精神的問題とその関連要因ー性感染等による HIV 感染患者との比較ー

小松賢亮¹⁾、今井公文²⁾、木村聡太¹⁾、
霧生瑤子¹⁾、渡邊愛祈³⁾、木内 英⁴⁾、
小形幹子¹⁾、大金美和¹⁾、藤谷順子⁵⁾、
菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
2) 筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター
3) 東京都立小児総合医療センター
4) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
5) 国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科

P114 就労支援ーソーシャルワーカー・カウンセラー協働による事例の報告ー

青野加奈子、山下美津江、望月真奈美、
鳥越彩英子、川畑良裕、高山次世

石川県立中央病院

P115 当院の HIV 感染症通院患者における精神科受診の現状と課題

飯塚暁子¹⁾、藤原千尋¹⁾、村上由佳¹⁾、
門田悦子¹⁾、三笠かおる¹⁾、大島瑞穂¹⁾、
松井綾香¹⁾、野村直幸¹⁾、木梨貴博¹⁾、
齊藤誠司¹⁾、坂田達朗¹⁾、和田秀穂²⁾

1) 国立病院機構 福山医療センター
2) 川崎医科大学 血液内科学

P116 群馬県における HIV 歯科診療連携事業の現状報告～患者アンケート結果より～

手嶋千とせ¹⁾、中村聡洋¹⁾、石崎芳美¹⁾、
柳澤邦雄³⁾、小川孔幸²⁾、内藤千晶²⁾、
樋口裕哉⁴⁾、城田陽子⁵⁾、合田 史⁶⁾、
内海英貴⁷⁾、下山田めぐみ⁸⁾、櫻井昇幸⁸⁾、
大谷忠広¹⁾、半田 寛²⁾

1) 群馬大学医学部附属病院 看護部
2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
3) 群馬大学医学部附属病院 感染制御部
4) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
5) 群馬大学医学部附属病院 医事課 (エイズ予防財団)
6) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
7) 医療法人社団日高会 白根クリニック
8) 群馬県健康福祉部保健予防課感染症対策係

社会 その他

P120 第 32 回日本エイズ学会総会でのアンケート調査結果からの推考と考察

中川あゆみ、横山次郎、松山理恵子

公益財団法人日本健康・栄養食品協会 日本食品保健指導士会

P121 HIV 感染症について捉え方の観点からの検討～サンフランシスコ訪問より

釜本宗史¹⁾、渡邊珠代²⁾、影向 晃³⁾、
水野真介⁴⁾、遠藤愛樹⁵⁾、高木純一郎¹⁾、
宮田 勝¹⁾

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科
2) 石川県立中央病院免疫感染症科
3) 新潟市民病院呼吸器内科・感染症内科
4) 日本赤十字社和歌山医療センター感染症内科・小児科
5) 山梨県立中央病院薬剤部

P122 当地域における一般人の針刺し事故

片井麻美¹⁾、木村 蘭¹⁾、山下恵子²⁾、堤 豊¹⁾

1) 市立函館病院
2) 内科高橋清仁クリニック

社会 在宅療養支援

P117 訪問看護師を利用した HIV 感染症患者の在宅療養支援の傾向

池田和子、杉野祐子、谷口 紅、鈴木ひとみ、
阿部直美、紅粉真衣、大杉福子、栗田あさみ、
大金美和、菊池 嘉、岡 慎一

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

P118 HIV 感染症患者を在宅医療にて受け入れた試み

辻川昭仁¹⁾、一木昭人²⁾

1) 医療法人社団 仁真会 辻川ホームクリニック
2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

P119 認知機能障害を呈し家族のサポート力が脆弱な HIV 陽性者の通院の現状と課題

高山次代、浅田裕子、鳥越彩英子、望月真奈美、
山下美津江、齊藤千鶴、小谷岳春、渡邊珠代

石川県立中央病院免疫感染症科